

平成18年2月17日

各県電気工事協力会会長様

中部電気工事協力会連合会
会 長 有賀昭彦
安全技術委員長 楠 修次

無墜落柱上安全带に関する不具合事象の周知と対応について

上記の件について、災害に直結するような無墜落柱上安全带の不具合事象が発生しましたので、①柱上安全带の再確認、②柱上安全带の適切な使用、③不具合が感じられるものは使用しないへの周知などについて、会員への周知徹底と対応方よろしく申し上げます。

なお、不具合事象の内容については、添付の中部電力資料のとおりです。

中部電力関係先あて

販売本部配電部架空配電グループ長 安藤

無墜落柱上安全带に関する不具合事象の周知と対応について（依頼）

題記について、災害に直結する無墜落柱上安全带の不具合事象が発生しましたので、至急対応方お願いします。

記

1 不具合事象

過日、某営業所において無墜落柱上安全带（以下、安全带という。）の胴綱長さを調整したところ、伸縮調節器内部のバネの戻りが悪く、胴綱を調整した位置で保持できないという事象が発生した。

発生原因現在調査中。

（不具合事象の詳細別紙参照）

2 対応事項

（1）配備品の確認

既使用品および資材倉庫内在庫品全てを対象として同様の事象がないか確認する。

（2）安全带の使用法の徹底

ア 昇柱前点検

安全带の各部の点検を確実に実施する。

イ 安全带使用方法

「配電関係安全作業の手引－第16章作業者の一般心得－9 安全带の使用」に定める安全带の使用法を徹底する。

配電関係安全作業の手引（抜粋）

9 安全带の使用

（1）柱上作業においては、安全带を使用しなければならない。

（2）安全带の使用にあたっては、次の事項を守らなければならない。

ア 本フックおよび補助フックは完全に掛かっていることを、目と手と耳で確認する。

イ 胴綱をかけた後徐々に体重をかけ、フックが外れないことを再度確認する。

ウ 作業中は、本胴綱と補助フックを常に取り付けておく。

エ 移動などにより、本胴綱および補助フックを外す場合は、必ずどちらか一方が掛かっていることを確認してから外す。

オ 補助フックは、必ず腰部より可能な限り上部で強度のある閉回路に取り付ける。

3 対応時期

即時実施

4 関係会社と協力会への周知

(1) 関係会社

本店から本文書で周知する。

(2) 協力会

本店から中部電気工事協力会連合会事務局へ周知済み。

各支店および営業所において協力会会員に対し、不具合事象および安全帯の確認について周知徹底を図る。

5 本文書の有効期限

別途通知とする。

6 その他

別紙 不具合事象の詳細

以上

(扱い：販売本部配電部架空配電グループ 福永 IP-PHS 内線 892-2963)

不具合事象の詳細

1 日 時

平成18年2月15日（水）16：30頃

2 場 所

〇〇市地内

3 状 況

- ・現場作業者は、配電線切替操作のため昇柱し、安全帯の胴綱の長さを調整した。
- ・伸縮調整器のバネの戻りが悪く、胴綱を保持できないことが判明した。（昇柱前点検では、異常は認められなかった。）

4 安全帯の概要

- ・メーカー : サンコウ(株)
- ・型 式 : 中電型柱上安全ランヤード
- ・伸縮調整器 : ナカギリ製 TYPE-92A 2004年12月製
- ・納入年月 : 平成17年10月営業所納入
- ・使用開始日 : 平成18年2月8日

以 上